

イチオシ!

D VD

『それでも生きる子供たちへ』

世界の子どもたちの窮状を救おうと、7人の名匠と国連児童基金(UNICEF)、国連世界食糧計画(WFP)がコラボレートした話題作。爆弾を抱えたルワンダの少年兵、サラエボの泥棒一家、HIVに感染したニューヨークの家族、サンパウロの貧民街で廃品を拾って生活する兄妹、カメラマンが幻想の中で見た戦地の子どもたち、ナポリの窃盗少年、北京の路上で働く貧しい孤児と愛に飢えた裕福な少女。異なる7つの国を舞台に、厳しい現実の中でたくましく生きる子どもたちの姿を、7つの国の名だたる映画監督たちが描いている。劣悪な状況にありながら、そこで生きる子どもたちの笑顔は素晴らしく、子どもを見つめる監督たちのまなざしも温かい。



©2005 MK FILM PRODUCTIONS SRI RAI CINEMA SpA

2005年/イタリア・フランス/本編130分、特典約40分
監督：ジョン・ウー、スパイク・リー、ジョーダン・スコット&リドリー・スコット、カティア・ルンド、エミール・クストリツァ、ステファノ・ヴィネルツ、メディア・カレフ
DVDは3,990円(税込)にて好評発売中
発売元：ギャガ株式会社

E VENT

春のみんぱくフォーラム2010 西アジア再発見

国立民族学博物館では、西アジア展示のリニューアルに合わせ、さまざまなイベントを企画している。その一つが、アジア各地を撮り続ける大村次郷氏の写真展「西アジア、祈りの風景」。西アジアの人々が神と向き合う静寂が、写真から伝わってくる。会期中はじゅうたんを作るワークショップや、イラン映画の上映会なども予定されている。

会期：3月30日(火)まで
会場：国立民族学博物館(大阪府吹田市)
開館時間：10時～17時(入館は16時30分まで)、水曜休館(水曜日が祝日の場合は翌日)
料金：一般420円、高校・大学生250円、小・中学生110円
TEL：06-6876-2151
URL：http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/w-asia_renewal09_sp.html

B OOK

『HIV/エイズとともに生きる子どもたち ケニア ～あなたのたいせつなものはなんですか?～』

自分にとって大切なものを尋ねられたら、何と答えるだろうか。HIVに感染したケニアの子どもたちの答えが、本書である。例えば、「薬」「水」「家」…。HIVに母子感染し、一生薬を飲まなければいけないこと。免疫力が低下しているので衛生的な食事を取らなければならないのに、水不足で手洗いすらできないこと。差別や偏見が怖くて家から出られないこと。子どもたちの答えの奥に隠されたこうした事実が胸が痛む。平易な文章と写真で分かりやすくまとめられており、小学生にも読める内容となっている。



この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

山本敏晴 著
小学館
1,575円(税込)

B OOK

『国際協力と学校 —アフリカにおけるまなびの現場—』

数ある国際協力の分野の中でも重要な位置を占めるのが「教育」。著者は、長年開発途上国の教育支援にかかわる中で、「教育開発」の名の下でアフリカに広がる近代学校教育が、現地で本当に求められているのかを考えてきた。本書では、第二次世界大戦後の近代学校教育を概観しながら、「なぜ国際協力をするのか」「何のための教育なのか」と、国際協力・教育開発の意味を問うている。一般的には、教育の中心には学校がある、と考えられているだけに、教育を「学校を通じてしか見ることができていない」という著者の指摘は、実に示唆に富んでいる。



この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

山田肖子 著
創成社
840円(税込)